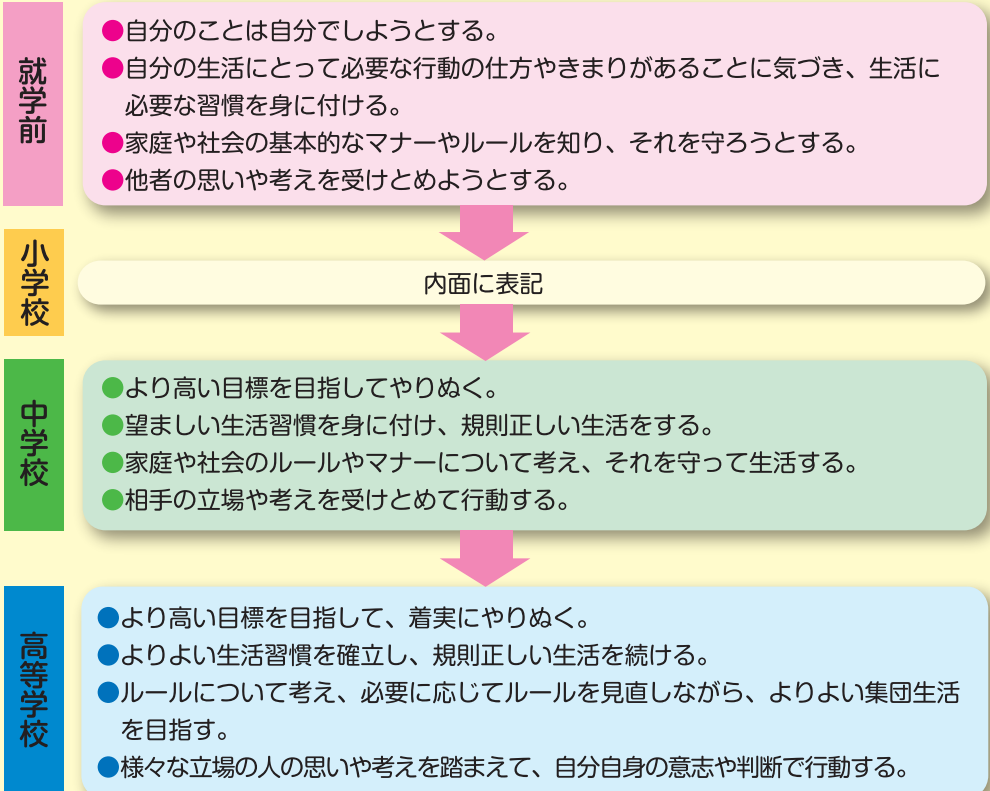
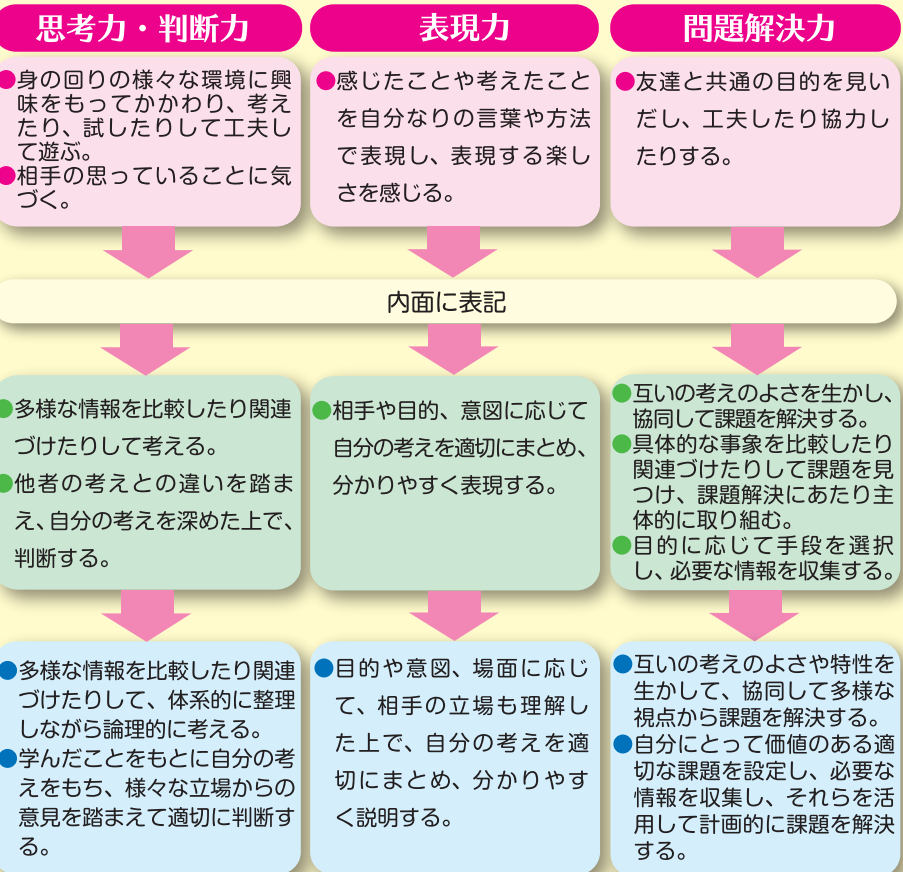


「おちついた生活」

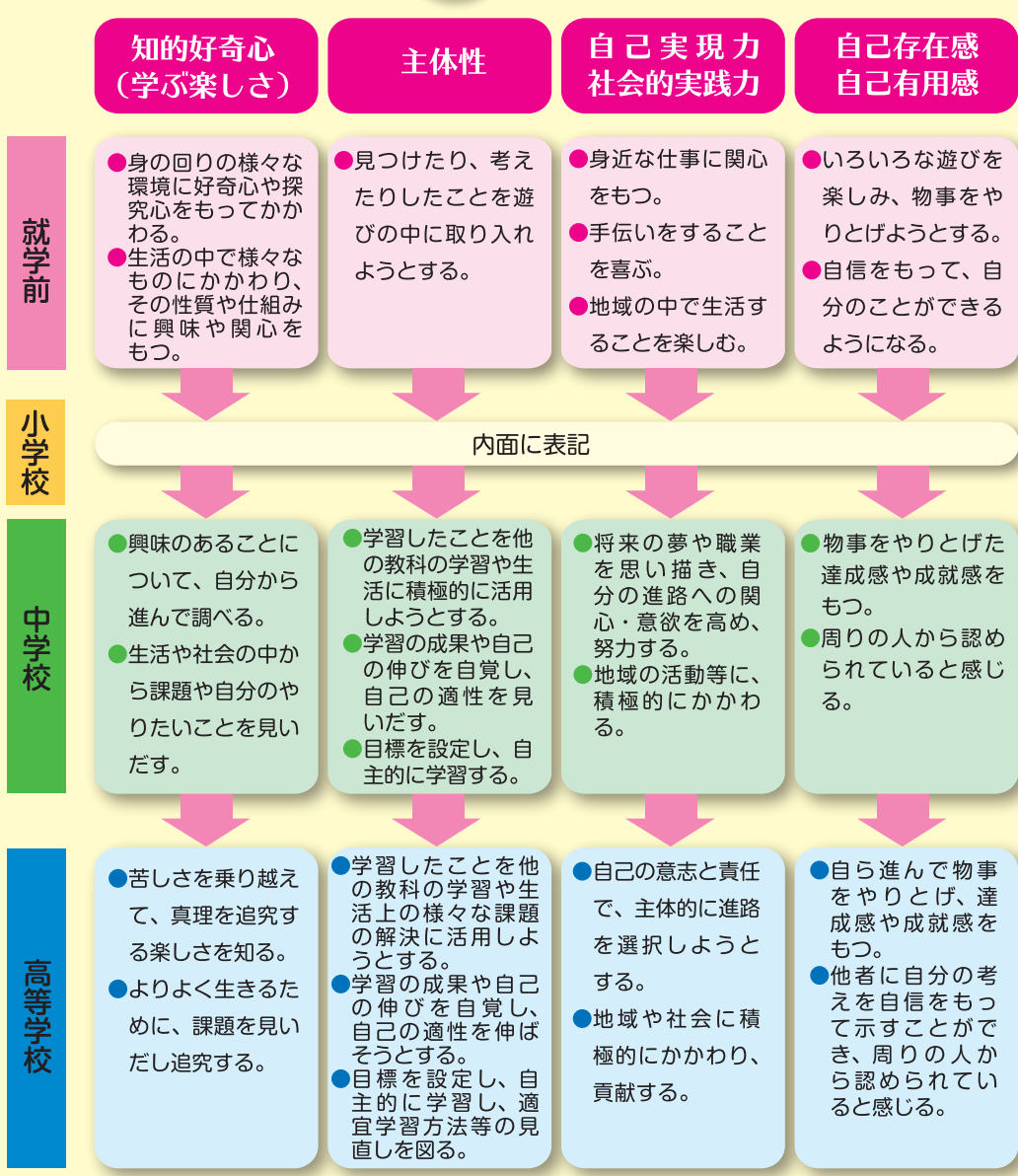
学びの基礎力（自律的行動・継続力・規範意識・人間関係構築力）



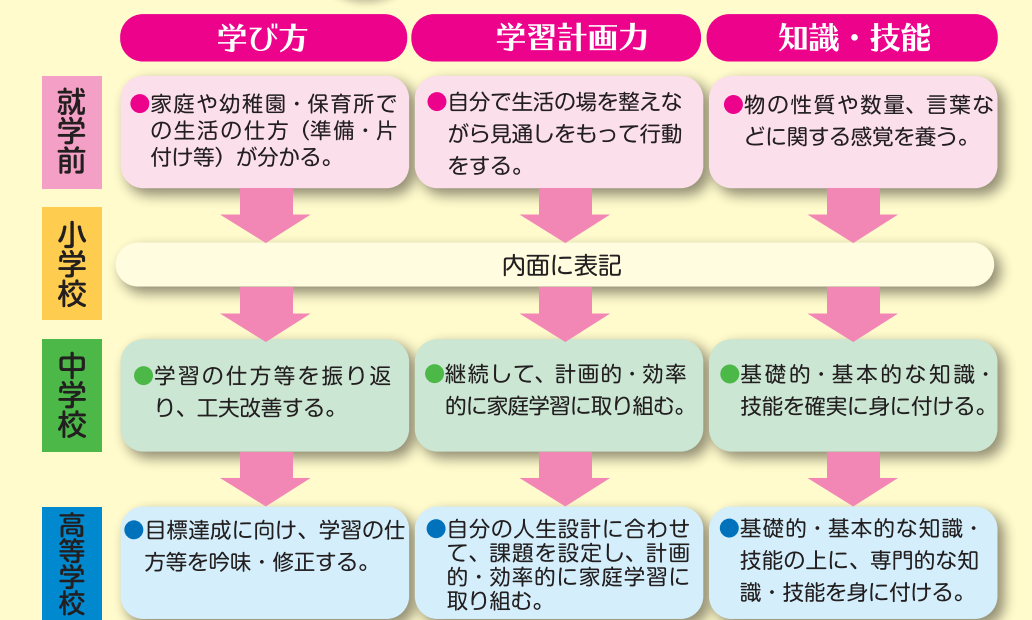
「かんがえ、伝える力」



「やる気」



「まなびの定着」



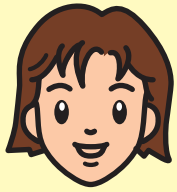
次代を担う「おかやまっ子」の確かな学力を育てるために、各発達段階において求められる力とその力を育成するための取組例を、

- 「おちついた生活」
- 「かんがえ、伝える力」
- 「やる気」
- 「まなびの定着」

この4つの視点からまとめました。このリーフレットを、各学校の児童の実態や取組状況の確認、保護者会や地域の会での話し合いの資料等に積極的に活用して、学校と家庭・地域が連携した学力向上の取組が一層推進されることを願っています。



育てるために



次のようなことがしっかり取り組んでいると
いいですね。各校でチェックしてみましょう。

小学校で

- 中学校区で連携して学び方や学習規律について共通理解し、発達段階に応じた学習の手引き等を作成し、指導する。
- 整った学習環境を保持し、心の安定に努める。
- 社会のルールを守って生活することの心地よさに気づき、ルールの大切さや必要感をもつことができるようにする。
- 協力し、助け合う、信頼できる人間関係づくりに努める。

- 問題解決的な学習過程の中で、学び合いの場を設定する。
- 自分で考えを書き、それを伝え合う場や時間を確保する。(ノート指導等)
- 筋道を立てて思考する場を設定し、表現のための語彙を増やす。
- 分かりやすい指導(教材提示装置やプロジェクタなど ICT を取り入れた授業づくり)に努める。
- 学ぶ環境づくり(辞書・辞典・ICT 機器・学級文庫・言語環境等)に努める。

- 「できた」「わかった」を大切に授業づくりに努める。
- 興味・関心が高まる単元の導入や身近な課題づくりに努める。
- 地域の特性を生かした様々な体験活動を設定する。
- 児童が主体的に取り組む学級活動や学校行事を設定する。
- 学習したことが日常の他の場面に生かせないか、考えさせる場を設定する。
- 地域や郷土出身の方から学ぶ機会を設定する。
- 児童が相互に評価し合う場を設定する。

- 児童の実態等を把握し、習熟度別指導や個に応じたきめ細かな指導を充実する。(学習のめあてを示し、見通しをもたせる。学習を振り返る場を設定する。)
- 中学校と連携した家庭学習の手引き等を作成し、学習習慣の定着に努める。
- 朝や放課後の時間を活用するなど、時程を工夫して補充学習等を行う。
- 家庭と連携し、宿題や予習・復習など家庭での学習課題を適切に課す。

小学校卒業までに育てたい力

「おちついた生活」

学びの基礎力(自律的行動・継続力・規範意識・人間関係構築力)

- 自分がしなければならないことは最後までやりとげる。
- 規則正しい生活をする。
- 家庭や社会のルールやマナーを知り、それを守って生活する。
- 他者の思いや考えを受けとめ、友達のよさに気づく。

「かんがえ、伝える力」

思考力・判断力

- 身近な情報を比較したり関連づけたりして考える。
- 自分の考えと他者の考えを比べて、判断する。

表現力

- 自分の気持ちや考えを自分の言葉で表現する。
- 相手や目的に応じて分かりやすく表現する。

問題解決力

- 他者と協同して課題を解決する。
- 具体的な事象の中から課題を見つける。
- 目的に応じて手段を選択し、情報を収集する。

「やる気」

知的好奇心(学ぶ楽しさ)

- 不思議に思ったり、疑問に思ったりしたことに関心をもつ。
- 生活の中から課題を見いだす。

主体性

- 学習したことを他の教科の学習や生活に結びつけて考えようとする。
- 学習の成果や自己の伸びを自覚する。

自己実現力・社会的実践力

- 身近な仕事にあこがれをもつ。
- 将来の夢や希望をもち、目標に向かって努力する。
- 地域の行事等に、進んで参加する。

自己存在感・自己有用感

- 物事をやりとげた喜びを味わう。
- 自分はやればできると感じる。
- 自分の得意分野をもつ。

「まなびの定着」

学び方

- 学習の仕方や進め方が分かり、工夫しようとする。

学習計画力

- 計画を立てて、継続して家庭学習に取り組む。

知識・技能

- 基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付ける。

育てるために



次のようなことに取り組めるよう、保護者
や地域の方と話し合ってみましょう。

家庭・地域とともに

〈家庭〉

- 子どもの話を聞くときは、目を見て、心で受けとめる。
- しっかりほめて、きちんとしかる。
- 家族の約束や社会のルールをきちんと守るようにする。
- 時間を上手に使い、規則正しい生活が送れるよう、子どもと十分話し合い、テレビやゲーム等の時間やルールを決める。
- 子どもの心が落ち着く時間や場をつくる。

〈地域〉

- あいさつなどの声かけやパトロール等を通して、子どもを見守る。

〈家庭〉

- 身近な生活や本の内容等を話題にして、子どもと話し合い、大人の思いを伝えたり、子どもの考えを受けとめたりする。
- 自分で考えたり、判断したりしたことの理由をしっかり受けとめる。
- 子どもを信じて見守り、がんばったプロセスを認めるようにする。

〈地域〉

- 地域の行事等で、子どもの感じたことなどを聞くようにする。

〈家庭〉

- 子どもと将来の夢や目標を語り合う。
- 学校や地域での行事に親子で参加し、活動する楽しさを体験できるようにする。

〈地域〉

- 地域で子どもや保護者が参加できる行事等の場を設定し、運営等にもかかわることができるようにする。
- 身近な地域の歴史や文化、自然のよさに触れる場を設定する。

〈家庭〉

- 時間や目標を決め、机に向かう習慣を身に付けさせる。
- 学校の学習活動を支援するボランティアなど、学校の教育活動へ積極的に参加する。

〈地域〉

- 地域の中に、子どもの取組の成果等を表現できる場を設定する。
- 学校の学習活動を支援するボランティアなど、学校の教育活動へ積極的に参加する。